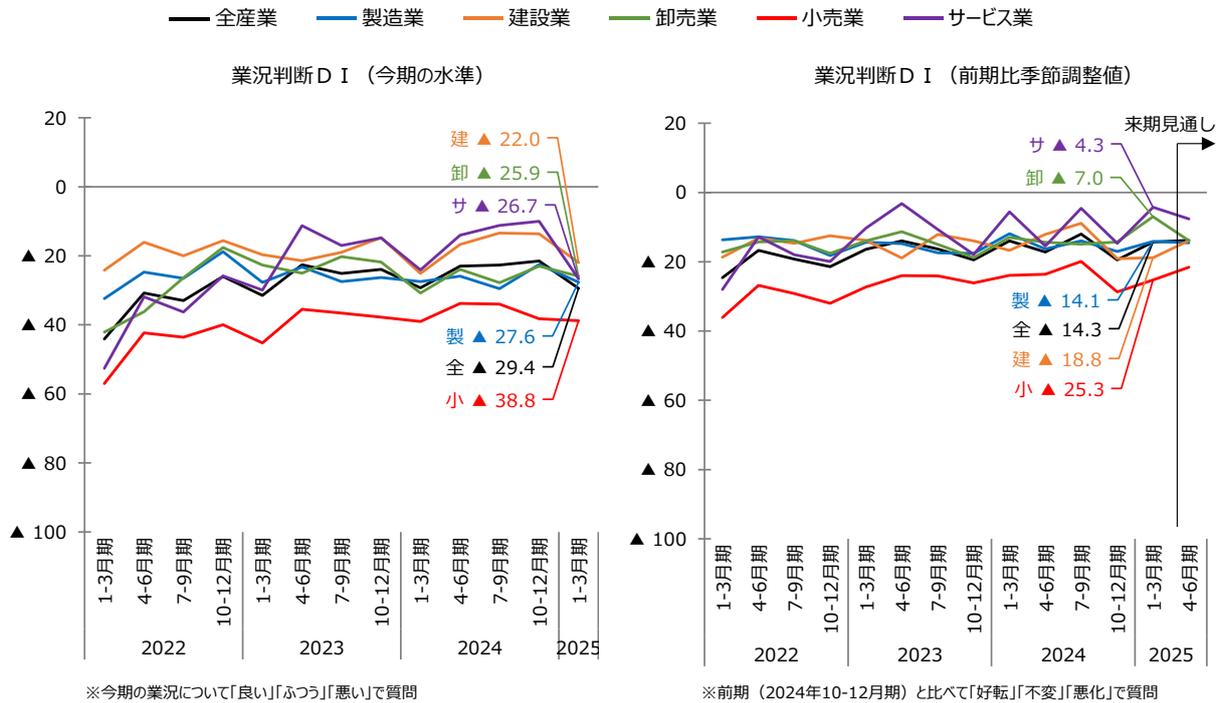


第179回 中小企業景況調査（2025年1-3月期） 中国



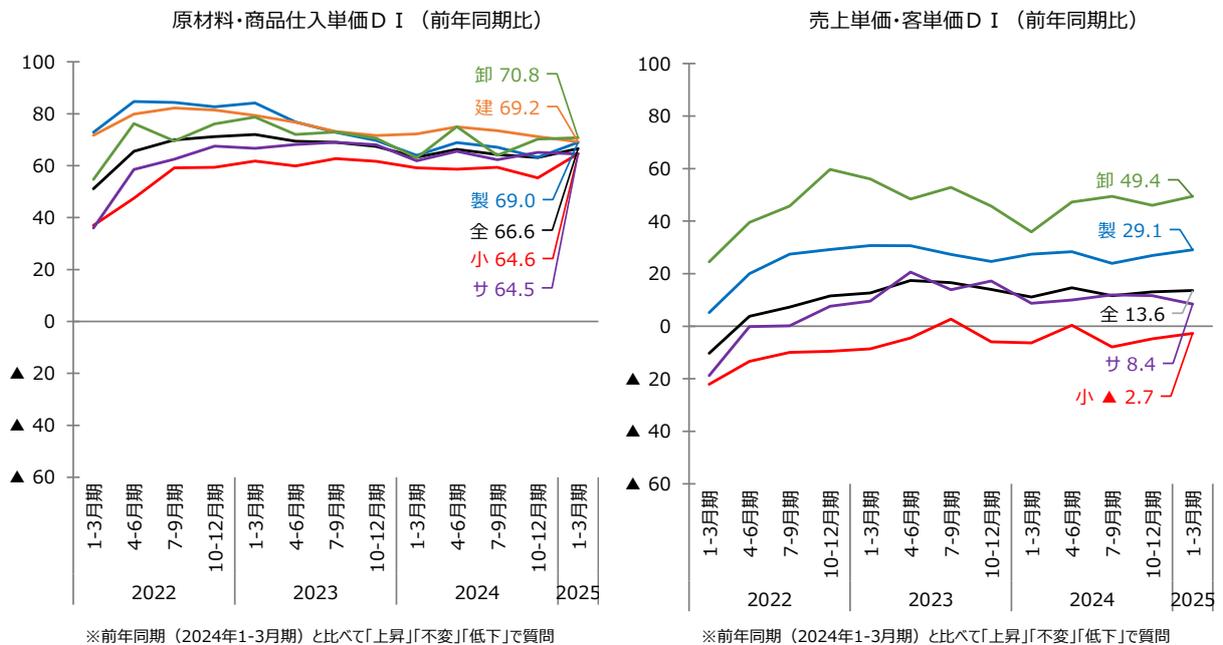
1. 業況感

中国地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2024年10-12月期）より7.9ポイント減の▲29.4と4期ぶりに低下した。産業別にみると、5産業すべてで低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より3.5ポイント増の66.6と3期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、製造業、卸売業で上昇し、建設業、サービス業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より0.5ポイント増の13.6と2期連続して上昇した。産業別にみると、卸売業、製造業、小売業で上昇し、サービス業で低下した。



＜調査概要＞ 調査時点は2025年3月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,758 有効回答企業数：17,654 有効回答率：94.1% うち、中国：1,607企業

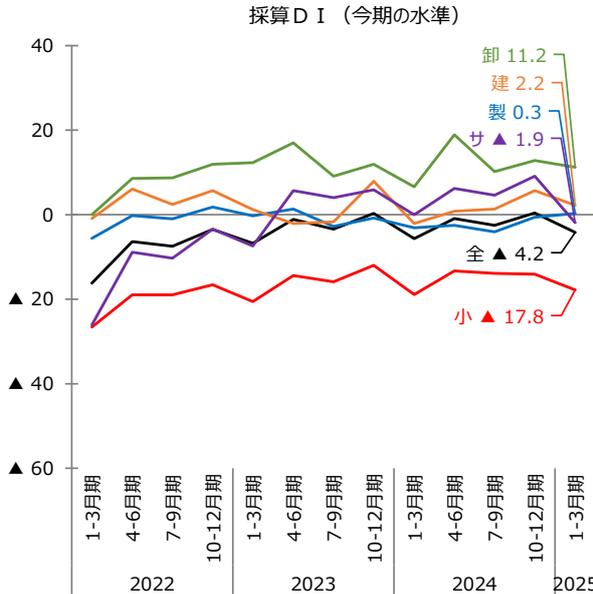
※本資料の集計対象の都道府県は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県です。

第179回 中小企業景況調査（2025年1-3月期） 中国



3. 採算

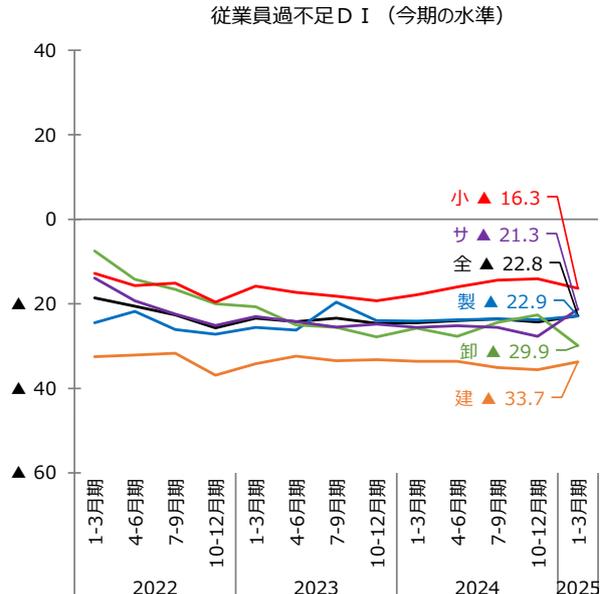
採算DIは、全産業で前期より4.6ポイント減の▲4.2と2期ぶりに低下した。産業別にみると、製造業で上昇し、サービス業、小売業、建設業、卸売業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より1.5ポイント増の▲22.8と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、サービス業、建設業、製造業で上昇し、卸売業、小売業で低下した。



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 中国の中小企業の声

	業況判断の背景	業種
現状	近1～2年は工作機械は自動車関連、半導体製造装置はメモリーの設備投資が低調であり、業況は悪い状態で推移している。	製造業 金属工作機械 製造業
	この季節は天候に左右される為、売上に繋がらない。給料などの固定支出はあるのに、資金繰りが難しい。元請け優先でやりたいが、仕事をするために下請けもしないとけない状況である。	建設業 左官工事業
	2月に寒波が日本列島に来て、再度冬が来て非常に厳しい状況である。アメリカ新政権もスタートし、過度な関税などで景気も悪くなっている。衣料品に対しても支出が減っていると感じる事も多く、浮上しにくい環境だ。	卸売業 婦人・子供服 卸売業
	食品単価と比べて生花やその他資材の単価が上昇していることは認知されていない。人件費が増加しても客単価が上がらない。予約来店する方が少ないため、その方々の為の花を在庫として抱える為フラワーロスが多い。	小売業 花・植木小売業
	物価高騰により顧客がシビアになっており、単なる買い控えではなく、値ごろ感を求めている。今後、更なる経費の上昇が予測されるため、他店との差別化を図る工夫も必要である。	サービス業 食堂、レストラン (専門料理店を除く)
見通し	委託加工は悪いまま続きさらに悪くなってきて回復の見通しはない。資材関係も原料高騰により調整のため減少している。和紙糸は需要が広がり試験糸がひときわ多く大変忙しくなり、営業努力が特に必要で頑張っている。	製造業 ねん糸製造業 (かさ高加工糸を除く)
	人出不足の影響で仕事も受けられない状況が続いている。給料面を手厚くしても職种的に難しいのだろうと感じる。経費等上昇に売上を増加させるのは難しい点がある。今後、今の水準を保つにはどうすべきかが課題である	建設業 一般土木建築 工事業
	令和7年1月末現在、売上高は前期比△272百万と大きく減少となっている関係もあり、総利益など全体の収益も大きく減少となっている。今後の見通しも厳しく楽観できない。	卸売業 金属加工機械 卸売業
	ガソリン価格の高止まりのみならず食料品などの値上がりでしばらくは需要停滞の波が続くそう。昨年はシステムの導入を行ったが今年は整備機器を新調するなどして販売力を高めていきたい。	小売業 ガソリンスタンド
	材料等仕入価格の上昇や電気代の高騰の影響により収益にも影響が及んでいる。当地域内における同業他社の新規参入が今後どのような影響を及ぼすか等懸念を抱えている。	サービス業 旅館、ホテル

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。